

第42回富山県中学校選抜大会バスケットボール競技
新型コロナウイルス感染拡大防止 対策ガイドライン
(JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドラインに基づいて作成)

1 事前の対応

参加チームに対して感染防止のために以下の「感染対策基本方針」をもとに、選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。大会責任者及び、参加者（チーム）はそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前・事業実施日・事後にお互いが連絡を取り合える環境づくりをする。

【感染対策の基本方針】

- ① 参加者全員の健康状態把握の徹底及び、可能な限りの行動記録の把握。
※以下の項目に該当する場合は、選手・指導者、審判員に限らず、参加を見合わせてもらう。（事前に健康チェックシートで把握する。）
 - ・ 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該 在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者全員のマスク着用、手洗い、手指消毒を徹底する。
- ③ 感染対策チェックリストの作成及び、各チームへの周知を行う。
- ④ 事業終了後に新型コロナウイルス感染症の発症が判明した場合は速やかな報告・対応を行う。
- ⑤ 試合会場や控え室等、会場はできる限り窓や扉を開放し、換気を心がける。

2 会場における感染対策

- ・ マスクの着用（運動時以外）やソーシャルディスタンスの確保を徹底する。
- ・ 審判はマスク等の顔を覆うものの着用や電子ホイッスルを使用してもよいこととする。
- ・ 手指消毒液などを準備するとともに、参加者はこまめな手洗いを心掛ける。
- ・ ウォーミングアップ等を行う場合は周囲と十分に距離を取りながら行う。特にマスクを外す場合には一層の距離をとることを心掛ける。
- ・ ベンチは選手同士の間隔が保たれるよう、工夫して設置（市松模様）するとともに、各試合後に消毒を行う。
- ・ TO席に手指消毒液を設置し、各試合後に消毒する。
- ・ 競技役員は、定期的に各所の換気やドアノブ、取手、テーブル、椅子等の消毒を行う。

※特に感染リスクの高い次の場所については、以下の点に配慮する。

- ①選手待機場所（大アリーナ 観客席）
 - ・ 各チームの待機場所を指定し、1.5～2mの間隔を開けて座る。
 - ・ 観覧席入り口には手指消毒液を設置する。
 - ・ 飲食の際には対面を避け、会話を控える。
- ②洗面所・トイレ
 - ・ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を準備する。
 - ・ トイレではふたを閉めて汚物を流すよう表示する。
 - ・ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ③更衣室
 - ・ 指定された更衣室を使用し、一度に利用する人数は15名までとする。
 - ・ 更衣室でもマスクを着用し、会話を控える。

3 各チームへの確認事項

- ・感染対策として、以下の10項目について各チームで徹底してもらう。

- ① 試合に出ていない選手、コーチ、マネージャーはベンチではマスクを着用するとともに、間隔をおいて着席する。
- ② 大声での指示、歌唱、声援は行わない。応援は拍手のみとする。
- ③ 試合前、試合後に相手チーム、審判、コーチとの握手は実施しない。
- ④ 試合終了後、両チームベンチへの挨拶はキャプテンのみとする。
- ⑤ 円陣、ハイタッチ、抱擁は行わない。
- ⑥ ボトル・タオル等の共有はしない。
- ⑦ 自分のチームの試合中、ウォーミングアップ（選手のみ）、T.O以外は試合会場に入場しない。
- ⑧ 会場内では、自分のチームの試合中、ウォーミングアップ時を除いて、マスクを着用する。
- ⑨ 各試合後、使用したベンチや待機場所は、各チームの責任において、消毒作業を行う。
- ⑩ 試合後のミーティングは、三密を避け、広い場所で行う。

4 大会会場への入場

- ・大会当日は受付を設置し、大会会場への入場者の把握を徹底する。
- ・大会会場への入場できるのは以下の①～⑤に該当する人のみとする。

- ① 選手（登録選手以外の当該校の部員含む）
- ② チーム関係者（顧問、部活動指導員、外部指導者）
- ③ 保護者（登録選手1名につき1名）
- ④ 当該校の教職員
- ⑤ 大会役員（審判、運営）

- ・①～⑤に該当する人は全て、事前に「健康チェックカード」を記入し、提出する。異変がある場合は、来場を控える。また、マスクの着用を徹底する。
- ・各校顧問は当日会場へ入場予定のチーム関係者（①～④）の大会参加者名簿を作成し、「健康チェックカード」を添えて、選手、チーム関係者については当日の朝、大会本部に提出する。保護者や当該校の教職員については、入場時に受付にて提出する。
- ・「健康チェックカード」の記載内容は、提出前に各顧問が確認し、選手等の健康状態について、判断に迷う場合は各会場の救護担当者に相談する。
- ・③保護者は、各チーム登録選手1名につき1名のみ入場を認める。その際、各顧問の責任において以下の5項目を徹底する。

- ① 入場を認めるのは、当該チームの試合会場のみとし、感染のリスクはゼロではないことを理解してもらう。
- ② 周辺地域での感染拡大の状況、当人の健康状態によっては、入場を断る場合があることを理解してもらう。
- ③ 来場時には受付に「健康チェックカード」を提出する。
- ④ 入場時にはマスクの着用を徹底し、会場内での会話を控える。選手との接触も控える。
- ⑤ 応援については、指定された場所で行い、大声での声援は行わない。応援は拍手のみとする。

5 事後対応

- ・健康チェックシートに関しては、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出者の了解を得た上で、大会責任者が1ヶ月は保管する。
- ・大会終了後（14日以内）に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症した場合速やかに当該校から大会責任者（専門委員長）に報告する。大会責任者（専門委員長）は県中体連事務局に報告するとともに、対応について検討する。